

平成24年度

かごしま市 決算のあらまし



市電軌道敷緑化整備事業



観光農業公園交流体験事業



明治維新 150年カウントダウン事業



科学館展示物更新事業

目次

- 24年度の主な事業実績 P1
- 24年度決算の状況 P3
- 一般会計決算額の内訳 P4
- 健全化判断比率と資金不足比率 P7

24年度の主な事業実績

「人・まち・みどり みんなで創る「豊かさ」実感都市・かごしま」の実現に向け、「市民と行政が拓く 協働と連携のまち」をはじめとする6つの項目に重点的に取り組み、本市の限りない発展と市民福祉の向上に努めました。

1 市民と行政が拓く 協働と連携のまち～信頼・協働政策～

①コミュニティビジョン推進事業 〔4,351千円〕

地域の多様な人材や資源を活用して地域の課題を発見・解決する取組を行う地域コミュニティ協議会のモデル事業を実施しました。



③本庁舎整備事業 〔289,730千円〕

みなと大通り別館自走式立体駐車場を整備するとともに、西別館（仮称）の実施設計を行いました。



②コンビニ交付システム構築事業 〔7,000千円〕

市民の利便性向上を図るため、市役所の開庁時間以外でも、コンビニエンスストアで住民票の写しなどを交付するシステムの構築に取り組みました。

このほかにも、次の事業を行いました

- 企画提案型まちづくりモデル事業
- ワンストップ窓口サービスの実施
- 市民とつくる協働のまち事業
- ONPOネットワーク構築事業
- 町内会加入促進事業
- みんなで参加わがまちづくり支援事業 など

2 水と緑が輝く 人と地球にやさしいまち～うるおい環境政策～

①コミュニティサイクル導入検討事業〔17,160千円〕

自動車から自転車への転換による地球温暖化対策や中心市街地の活性化・観光の魅力アップを図るため、放置自転車を活用する中で、利用期間等を拡大して引き続き社会実験を行いました。

③平川動物公園リニューアル事業 〔476,904千円〕

魅力ある動物公園にリニューアルするため、世界のサルゾーンや不思議な動物ゾーン等の整備を行いました。



④市電軌道敷緑化整備事業 〔199,620千円〕

工学部前交差点から中洲電停交差点までを緑化し、これまで整備を進めてきた道路併用軌道区間の全線緑化が完成しました。



②地域まるごと環境未来館創造事業〔5,299千円〕

市内各地域で環境保全活動等に取り組んでいる市民団体・事業者と協働して実施する、新しい形の講座やイベントを開催しました。

このほかにも、次の事業を行いました

- 太陽光発電導入促進事業
- 生ごみの減量化・資源化推進事業
- 資源物回収活動の活性化推進事業
- 美しいまちづくり推進事業
- 天文館公園再整備事業 など

3 人が行き交う 魅力とにぎわいあふれるまち～にぎわい交流政策～

①錦江湾魅力再発見クルーズ事業 〔600千円〕

雄大な活火山桜島を背景に錦江湾の湾奥を巡るクルーズ船を運航しました。

②観光農業公園整備事業 〔1,933,848千円〕

観光農業公園交流体験事業等 〔72,946千円〕

整備を進めてきました観光農業公園が平成24年11月にオープンし、本市グリーンツーリズムの拠点施設として、農業・調理などの体験プログラムや季節のイベントを実施するなど魅力ある運営に努めました。



③都市農村交流施設整備事業 〔90,524千円〕

都市と農村の交流を促進し、地域の活性化を図るため、松元地域の果茶業指導農場跡地を活用した都市農村交流施設の整備工事に着手しました。



④「メイドインかごしま」支援事業〔11,934千円〕

中小企業（製造業者等）の新製品の開発や知的財産権の取得等経営力の強化や製品等の販路拡大の取組を支援しました。

⑤農業生産基盤の整備 〔690,736千円〕

団体営土地改良事業、県営土地改良事業等を実施するとともに、市単独土地改良事業により農道や用排水路等の整備を行いました。

このほかにも、次の事業を行いました

- 桜島ジオパーク検討事業
- 路面電車観光路線検討事業
- 平川動物公園・かごしま水族館アクセス検討事業
- 街なかサービス推進事業
- 中心市街地活性化推進事業
- 農工商等連携人材育成塾開催事業
- ものづくり職人人材マッチング事業
- 新規就農者確保事業
- 降灰地域防災農農対策事業 など

4 健やかに暮らせる 安全で安心なまち～すこやか安心政策～

①乳幼児医療費助成制度 〔858,366千円〕

入院や通院時の医療費助成をこれまでの小学校就学前から小学6年生までに拡大する市独自の助成制度の実施に向け、システム改修などを実施しました。

②親子つどいの広場整備事業 〔85,115千円〕

南部地域の施設整備に着手するとともに、新たに北部地域での設置に向けた実施設計等を行いました。



③セーフコミュニティ推進事業〔7,748千円〕

生涯にわたって安心安全に暮らせる世界基準の安心安全都市を目指すため、事故やけがの原因を調査し、地域ごとの課題に対応した事故等の防止策を市民や関係団体と協働して実施するセーフコミュニティの手法を導入するとともに、27年度の認証取得に向けて、アンケート調査や体制づくり等に取り組みしました。



④デジタル防災行政無線 整備事業 〔345,950千円〕

災害時の迅速かつ確実な情報伝達手段として、デジタル防災行政無線の整備工事（鹿児島地域一部、桜島地区、郡山地域）に着手しました。

このほかにも、次の事業を行いました

- 病児・病後児保育事業
- すこやか長寿まつり開催事業
- 地域包括支援センター運営事業
- わくわく福祉交流フェア事業
- 障害者基幹相談支援センター設置事業
- 避難計画再検討事業
- 災害時食糧等物資備蓄事業 など

5 学ぶよろこびが広がる 誇りあるまち～まなび文化政策～

①地域公民館整備事業〔670,032千円〕

中央公民館及び谷山市民会館において、新たにエレベーターを設置するなど大規模改修を行いました。



④科学館展示物更新事業〔311,387千円〕

参加体験型の展示物に更新するとともに、実験ショー等の内容を充実し、子どもから大人まで科学の不思議を楽しめる施設として平成25年3月にリニューアルオープンしました。



②明治維新150年カウントダウン事業 〔4,434千円〕

明治維新から150年の節目にあたる平成30年に向けたカウントダウン事業として、生麦事件に関する講演会を開催しました。

③文化薫る地域の魅力づくりプラン推進事業 〔4,327千円〕

文化薫る地域の魅力づくりプランに基づき、本市ゆかりの美術、音楽、伝統芸能を活かしたシンポジウム等を開催しました。

このほかにも、次の事業を行いました

- 特別支援教育体制推進事業
- 幼稚園就園奨励費補助事業
- 学校支援ボランティア事業
- 大桜島展開催事業
- 地域スポーツクラブ運営活性化事業
- 郡山体育館（仮称）建設事業
- 男女共同参画計画推進事業 など

6 市民生活を支える 機能性の高い快適なまち～まち基盤政策～

①土地区画整理事業の推進〔8,538,299千円〕

宇宿中間地区、吉野地区、谷山第二地区、原良第二地区、原良第三地区、郡山中央地区、谷山駅周辺地区および谷山第三地区の土地区画整理事業を推進しました。



④自転車走行ネットワーク形成事業〔13,344千円〕

自転車で回遊できるネットワークの充実を図るため、天文館地区において自転車走行空間を試行的に整備しました。



②鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業 〔12,740千円〕

関係団体等との協議、調整を行いながら駅周辺整備計画の基本設計の見直しや、鉄道施設移転の調査検討、大規模空閑地の土地利用基本計画の策定に取り組みしました。

③安心快適住宅リフォーム支援事業〔302,103千円〕

市内の業者が施工するリフォーム費用の一部を助成することにより地域経済の活性化を図るとともに住環境の質的向上を図りました。

このほかにも、次の事業を行いました

- ブルースカイ計画事業
- 谷山地区連続立体交差事業
- 景観づくり応援事業
- 公園施設長寿命化計画策定事業
- 公共建築物ストックマネジメント事業
- 学校施設建築物ストックマネジメント事業
- 街路事業 など
- 市営住宅建設事業
- 公共交通不便地対策事業
- 橋りょう長寿命化事業

24年度決算の状況

区 分	歳入(A)	歳出(B)	形式収支 (C=A-B)	翌年度 繰越財源(D)	実質収支 (C-D)
一般会計	2,371億803万円	2,293億1,381万円	77億9,422万円	14億5,157万円	63億4,265万円

区 分	歳入(A)	歳出(B)	形式収支 (C=A-B)	翌年度 繰越財源(D)	実質収支 (C-D)
特別会計	1,137億3,389万円	1,159億2,026万円	△21億8,637万円	0	△21億8,637万円
中央卸売市場	5億6,332万円	5億5,048万円	1,284万円	0	1,284万円
交通災害共済事業	844万円	570万円	274万円	0	274万円
地域下水道事業	7,261万円	6,934万円	327万円	0	327万円
桜島観光施設	8,154万円	2,854万円	5,300万円	0	5,300万円
土地区画整理事業用地取得	4,300万円	4,300万円	0	0	0
国民健康保険事業	659億2,050万円	683億8,273万円	△24億6,223万円	0	△24億6,223万円
介護保険	401億8,910万円	401億6,668万円	2,242万円	0	2,242万円
後期高齢者医療	62億8,805万円	62億2,611万円	6,194万円	0	6,194万円
母子寡婦福祉資金貸付事業	5億6,733万円	4億4,768万円	1億1,965万円	0	1億1,965万円

区 分	収入(A)	支出(B)	差引(A-B)
企業会計	388億4,546万円	377億1,289万円	11億3,257万円
病院事業	141億6,044万円	137億2万円	4億6,042万円
交通事業	40億6,441万円	44億4,061万円	△3億7,620万円
水道事業	110億6,528万円	103億6,775万円	6億9,753万円
工業用水道事業	1,033万円	1,006万円	27万円
公共下水道事業	72億5,150万円	68億9,224万円	3億5,926万円
船舶事業	22億9,350万円	23億221万円	△871万円

※ 企業会計は収益的収支を税抜き額で表示しています。

【ポイント】

一般会計は、歳入額から歳出額を差し引いた額（形式収支額）は約78億円ですが、ここから翌年度で支払わなければならない繰越財源約15億円を引いた額（実質収支額）は、約63億円となり、これまで最大の黒字となりました。

特別会計は、9会計の合計で約22億円の赤字となりましたが、国民健康保険事業特別会計においては、25年度からの繰上充用で対応しました。

企業会計は、6会計の合計で約11億円の黒字となりました。

一般会計

市の会計の基本であり、福祉、医療、教育や道路・公園の整備など基本的な行政サービスを行う会計。
主な収入は、市税や国・県支出金などです。

特別会計

特定目的のための会計。
国民健康保険税や介護保険料など特定収入があり、一般会計から切り離して、その収入・支出を管理する会計です。
〔24年度 9会計〕

企業会計

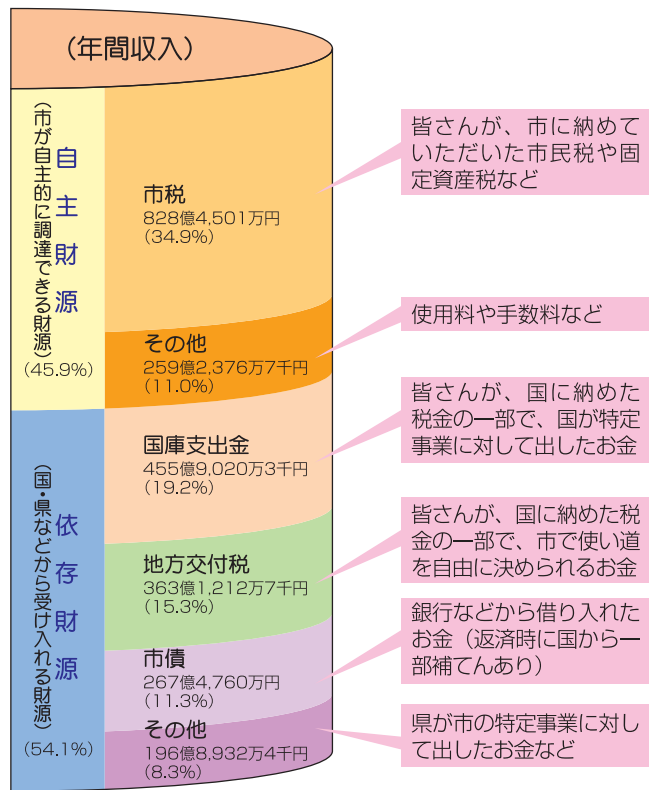
地方公営企業（市立病院、交通局、水道局、船舶局）の会計。
民間企業と同じように、事業で収益をあげて運営する会計です。
〔24年度 6会計〕

一般会計決算額の内訳

歳入：市税が減少
歳出：民生費が増加

歳出
2,293億1,381万1千円

歳入
2,371億803万1千円



【歳出のポイント】

歳出総額は、約2,293億円で、前年度比約14億円の減（0.6%の減）となりました。

歳出で最も多いのは、公債費を除くと社会保障関係経費である子育て支援や生活保護費などに使われる民生費で、前年度と比較し、約7億円（0.8%の伸び）の増となっており、一般会計全体に占める割合が41.2%になりました。

【歳入のポイント】

歳入総額は、約2,371億円で、前年度比約15億円の減（0.6%の減）となりました。

歳入で最も多いのは市税ですが、固定資産税の減などにより、前年度と比較し、約4億円の減になりました。この他、子どものための金銭の給付費（子ども手当、児童手当）の減などに伴う国庫支出金や老人福祉施設整備費の減などに伴う県支出金、地方特別交付金、国の地方財政対策による地方交付税などが減となりました。

市民1人当たりの使い道は？

1人当たり約37万7千円のうち、福祉の充実に約15万5千円

一般会計の歳出決算額2,293億円の使い道を市民1人当たりに換算してみました。

市民1人当たり 約37万7千円の使い道

○子育て支援や高齢者の医療など福祉の充実に
約15万5千円



○市債の返済に
約4万6千円



○教育や文化の振興に
約3万4千円

○商業・観光・農林水産業の振興に
約1万2千円



○消防・救急に
約9千円

○道路や公園、住宅などの整備に
約5万6千円



○環境や衛生の向上に
約2万4千円

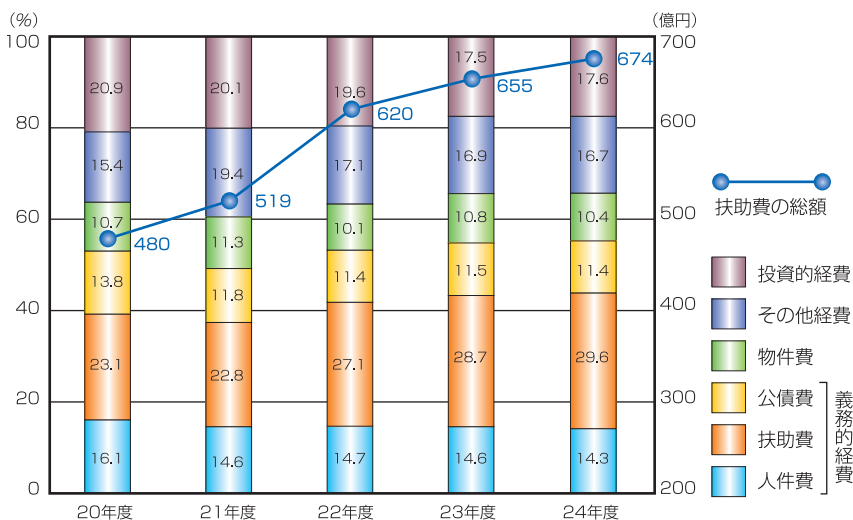


○市の運営などに
約4万1千円



歳出決算(性質別)の推移(普通会計)

扶助費は年々増加



【歳出決算のポイント】

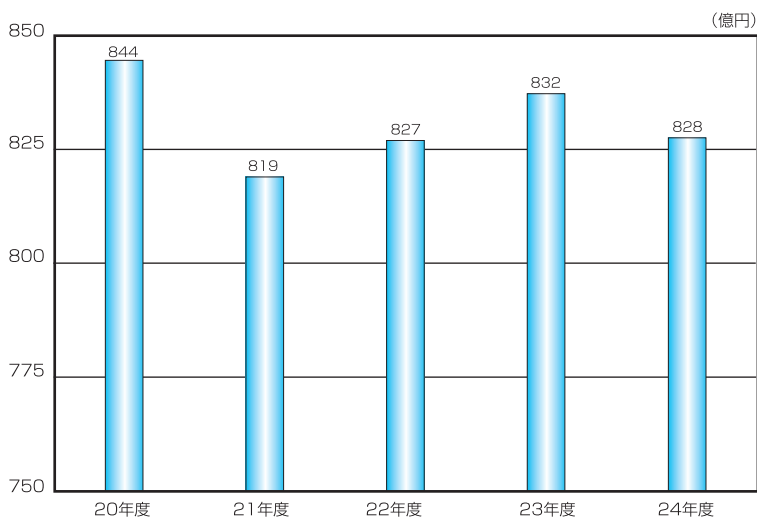
生活保護や子育て支援、高齢者の医療などの扶助費が、前年度に引き続き増となっており、総額に占める割合も年々高くなっており、24年度決算では、29.6%と約3割になりました。

■用語メモ

「普通会計」とは、各市町村の決算状況を統一的に比較するために地方財政統計で用いられている会計区分です。
 鹿児島市では、一般会計のほか、土地区画整理事業清算、地域下水道事業、土地区画整理事業用地取得、母子寡婦福祉資金貸付事業の4特別会計を合わせたものです。

市税の推移

24年度は前年度より約4億円減少



【市税のポイント】

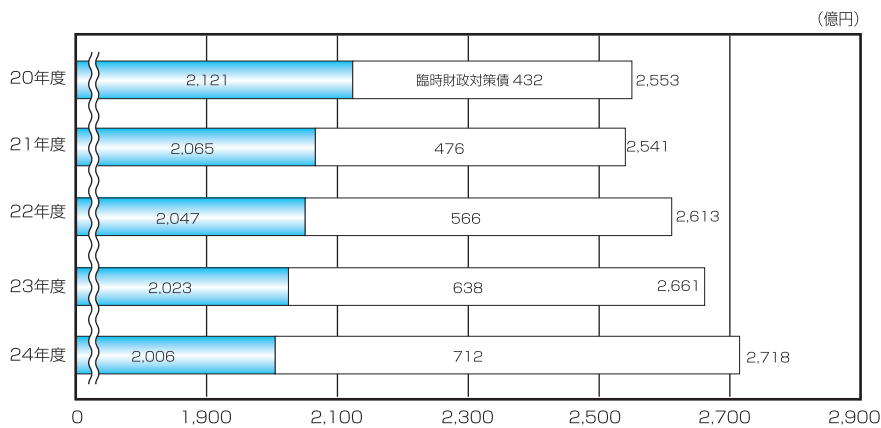
市税は鹿児島市のまちづくりを行うための最も重要な財源で、市民税や固定資産税、都市計画税などがあります。

24年度決算では、約828億円の税収があり、歳入全体の約35%を占めています。

(市民1人当たり約14万円となりました。)

市債残高の推移

実質的な残高は年々減少



- (1) グラフの右部分は実質的な地方交付税である臨時財政対策債です。
- (2) 左部分は臨時財政対策債を除いた残高です。
- (3) 金額は同意ベース、23年度までは決算額、24年度は決算見込額です。

【市債残高のポイント】

市債は、将来の市民の皆さんにも公平に費用負担をしていただくため、また、返済時に国から交付税が配分される制度を活用する観点から発行しました。

将来、地方交付税として金額が配分される臨時財政対策債を除く実質的な市債残高は年々減少しています。

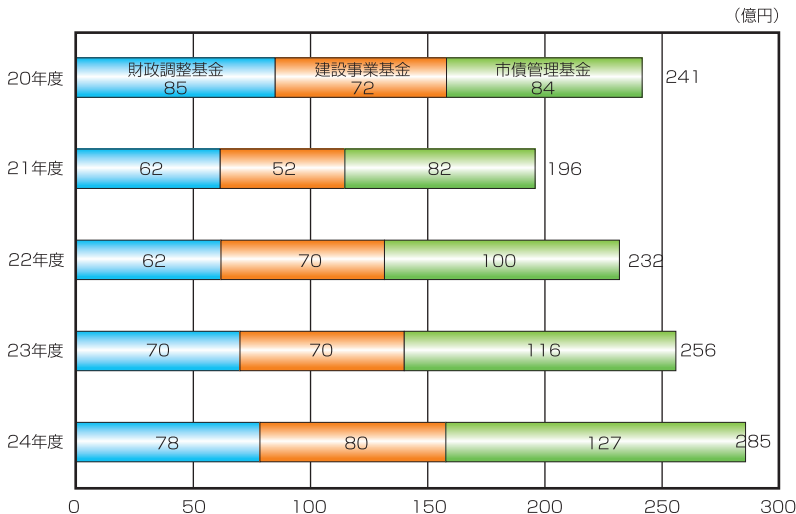
(市民1人当たり約32万円となりました。)

■用語メモ

「臨時財政対策債」とは、本来は地方交付税として、国から配分されるお金を国の財政上の都合で市が借りているものです。返済はすべて国の負担です。

基金残高の推移

24年度は前年度より約29億円増加



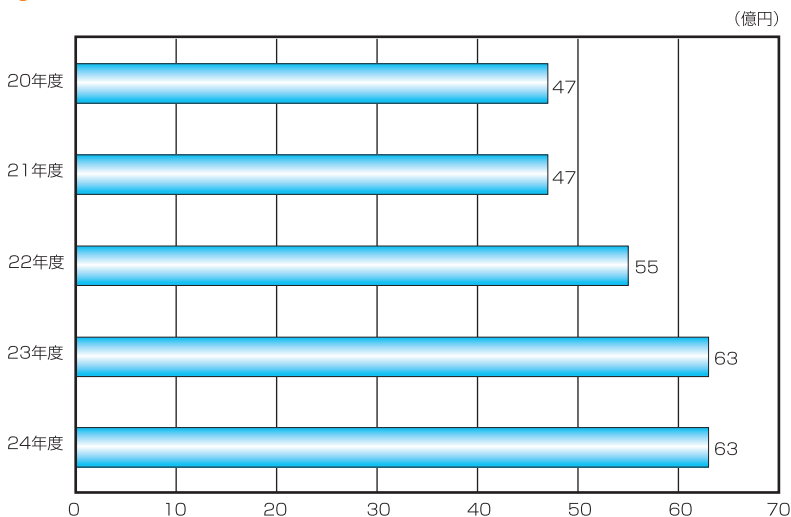
【基金残高のポイント】

基金は、一般家庭の貯金に相当するもので、左の3基金については、必要に応じて積立てや取崩しを行っています。

24年度は、前年度に引き続き財源調整機能を高めるため、約29億円を積立て、残高は約285億円になりました。

実質収支の推移

過去最大の約63億円



【実質収支のポイント】

24年度決算では、23年度とほぼ同額の約63億円の黒字となっており、これまでで最大の黒字額を確保しました。

■用語メモ

「実質収支」とは、その年度の決算で、収支が赤字か黒字かを示す指標で、歳入と歳出の差引額から、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額をいいます。

24年度決算のまとめ

本市の24年度決算は、前年度に引き続き黒字を確保し、基金残高を増やすとともに、実質的な市債残高も減少するなど、健全な財政運営を維持する中で、さまざまな施策を積極的に推進し、市勢の発展と市民福祉の向上に努めました。

今後見込まれる社会保障関係経費の増大など、財政状況は、厳しさを増していくと思われませんが、プライマリーバランスの黒字を確保しながら、可能な限り、各面からの財源を確保し、事業のしゅん別や見直しを行い、健全な財政運営に努めていきます。

■用語メモ

「プライマリーバランス」とは、借金(市債)を除いた歳入と返済(元金)を除いた歳出を比較したもので、歳入の方が多くなれば黒字となり、財政が健全であることを示します。

★予算や決算の状況は、

市ホームページ(【トップページ】→【市政情報】→【財政状況】)をご覧ください。

<http://www.city.kagoshima.lg.jp/>

健全化判断比率と資金不足比率

※毎年度、「健全化判断比率」と「資金不足比率」の公表が義務付けられています。

● 健全化判断比率

【健全化判断比率のポイント】

市の財政の健全度を測る指標の一つで、基準を超えた場合、計画を定めて財政対策に取り組むこととなります。すべての項目で、早期健全化基準内となっています。

4 指 標	内 容	24年度決算（速報値）		早期健全化 基準 (イエローカード)	財政再生 基準 (レッドカード)
			中核市順位		
実質赤字比率	一般会計などの実質赤字の比率	—	—	11.25%	20.0%
連結実質赤字比率	全会計の赤字や黒字を合算した実質的な赤字の比率	—	—	16.25%	30.0%
実質公債費比率	借入金(地方債)の返済額やこれに準じた額の大きさを示す比率	5.1% (5.6%)	7位/41市 (7位/41市)	25.0%	35.0%
将来負担比率	一般会計などの地方債や将来支払う可能性がある負担などを加味した実質的な負債の比率	38.7% (29.6%)	13位/41市 (10位/41市)	350.0%	

※()内は23年度決算

● 資金不足比率

【資金不足比率のポイント】

公営企業会計の財政の健全度を図る指標で、基準を超えた場合、計画を定め、経営改善に取り組むこととなります。1会計（交通事業）に資金不足額があるものの、基準内となっています。

公営企業会計	24年度決算	経営健全化基準
交通事業	17.6% (13.1%)	20.0%
病院事業 水道事業 工業用水道事業 公共下水道事業	船舶事業 中央卸売市場 桜島観光施設 — (—)	

※()内は23年度決算

～「かごしま市決算のあらまし」の作成に当たって～

60万市民の皆さんからお預かりした大事なお金。

市民と協働のまちづくりを進めていくために、大切にに使わせていただきました。

これからの「予算」だけでなく、取組の成果である「決算」を見やすく、わかりやすくお伝えし、あすの鹿児島市につなげていくために「かごしま市決算のあらまし」をまとめました。

市政の主役である市民の皆さんのさまざまなご活躍を、健全財政の維持と創意と工夫に満ちた行財政運営で、これからも支えてまいります。

平成24年度 かごしま市決算のあらまし

編集／発行：鹿児島市財政課

〒892-8677 鹿児島市山下町11-1 ☎099-216-1155